

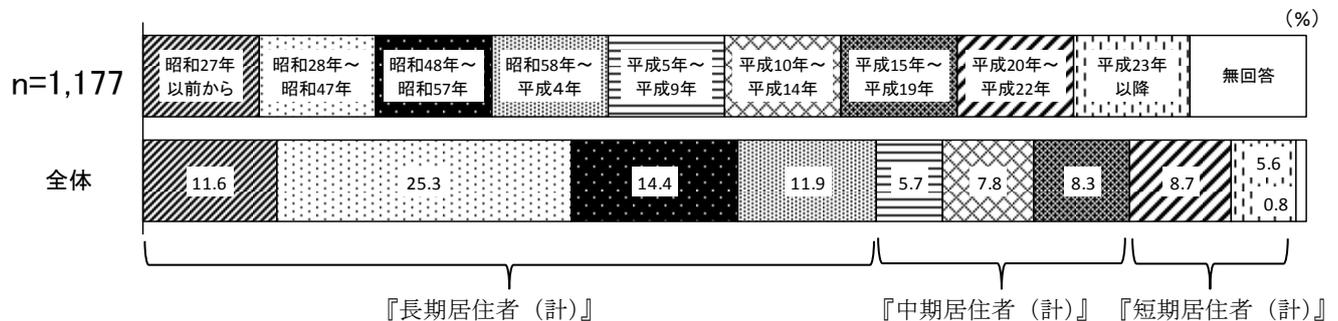
I 調査結果の分析

1 定住性

(1) 居住開始時期

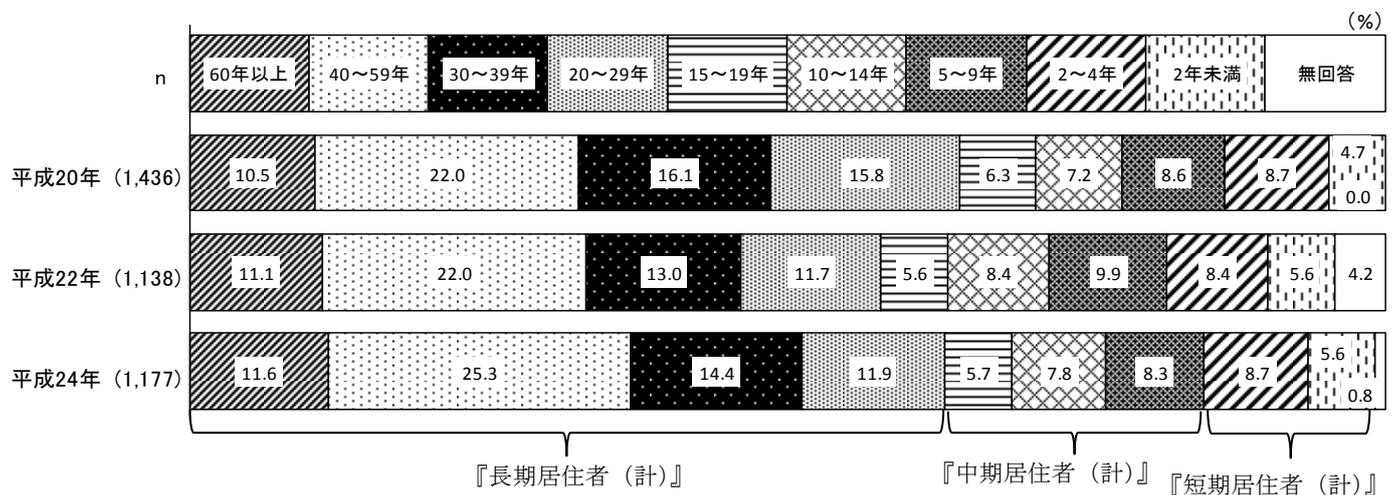
(全員の方に)

問1 あなたは、いつ頃から大田区に住んでいますか。(〇は1つ)



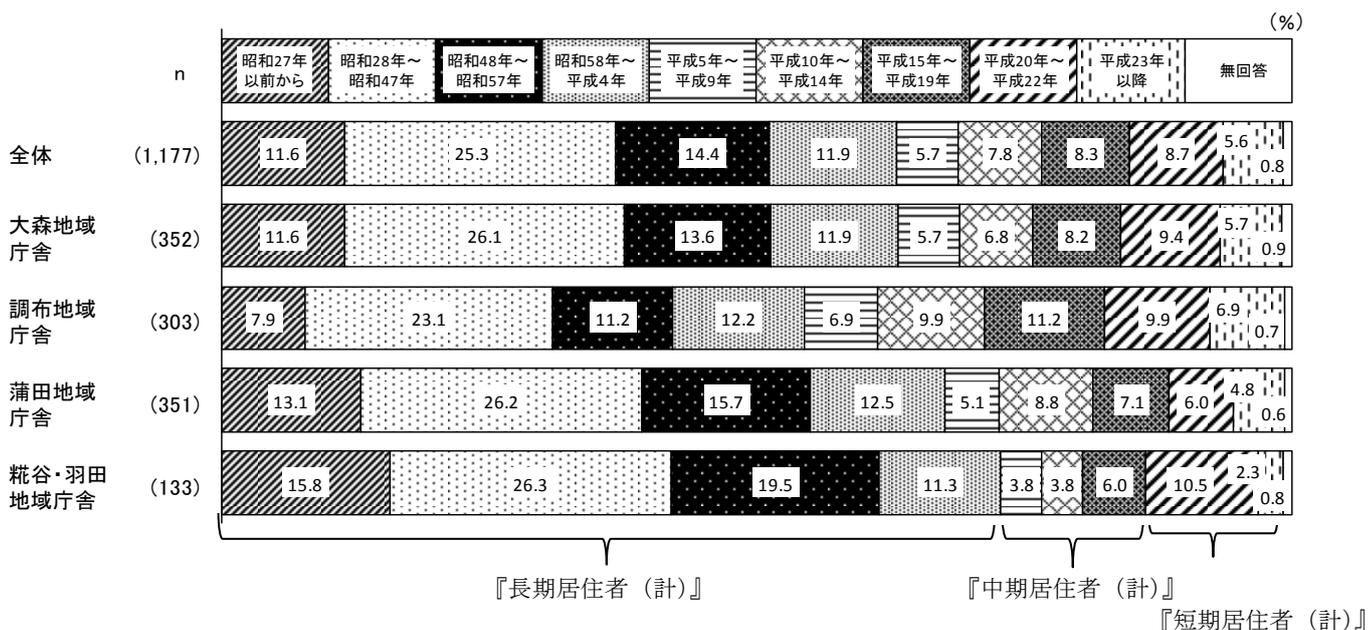
・全体でみると、「昭和27年以前から」(11.6%)、「昭和28年～昭和47年」(25.3%)、「昭和48年～昭和57年」(14.4%)、「昭和58年～平成4年」(11.9%)の4つを合わせた、大田区に20年以上居住している『長期居住者(計)』(63.2%)が6割台半ば近くとなっている。「平成5年～平成9年」(5.7%)、「平成10年～平成14年」(7.8%)、「平成15年～平成19年」(8.3%)の3つを合わせた、居住年数が5年以上20年未満の『中期居住者(計)』(21.8%)は2割強、「平成20年～平成22年」(8.7%)と「平成23年以降」(5.6%)を合わせた、居住年数が5年未満の『短期居住者(計)』(14.3%)は1割台半ば近くとなっている。

【居住開始時期 (居住年数) : 過年度比較】



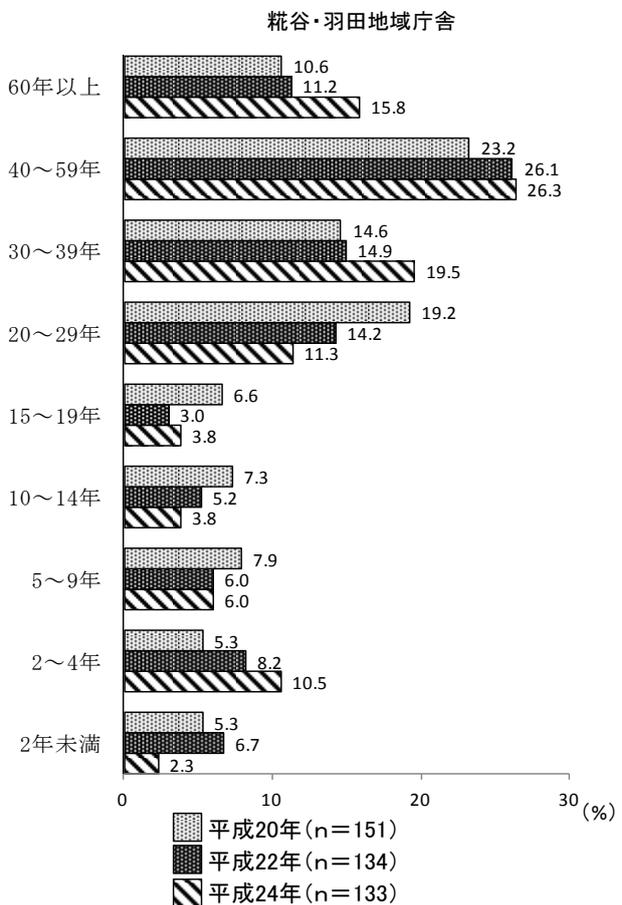
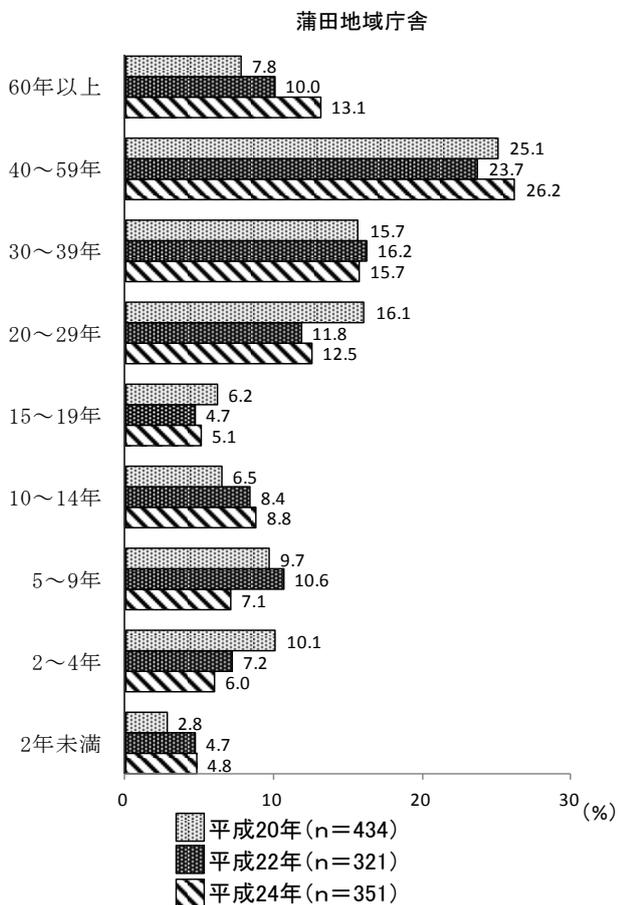
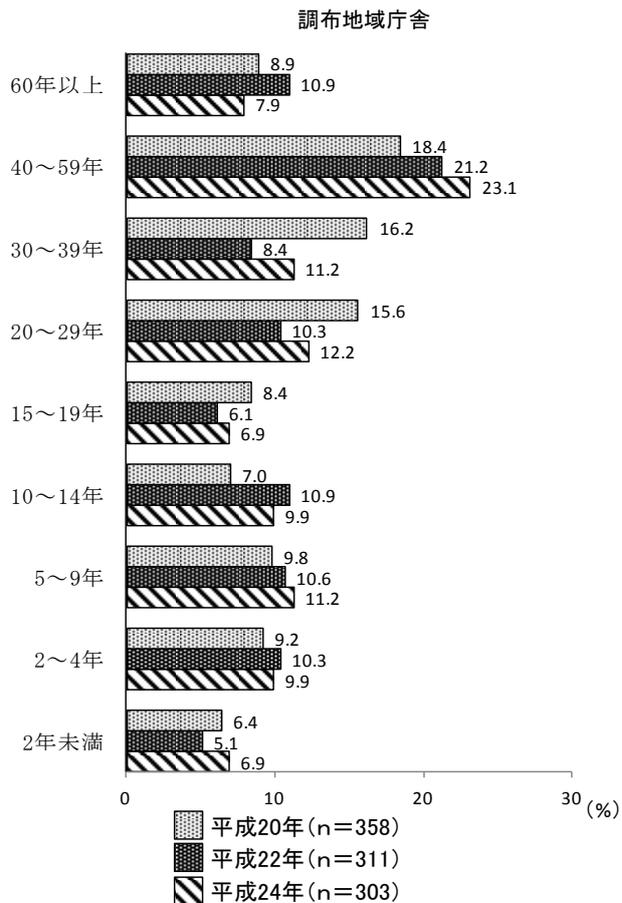
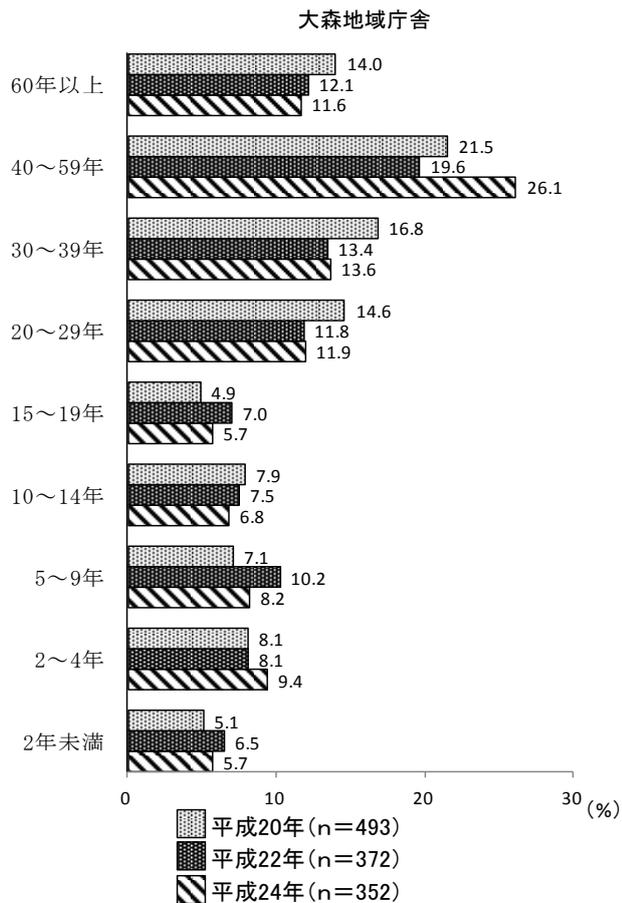
・大田区への居住開始時期を大田区での居住年数に換算して、経年比較した。居住年数が20年以上の『長期居住者(計)』は前は6.6ポイント減少したが、今回は5.4ポイント増加している。一方で、居住年数が5年以上20年未満の『中期居住者(計)』、居住年数が5年未満の『短期居住者(計)』の割合は、前回調査、前々回調査からほぼ変化がない。

【居住開始時期×地域庁舎管内別】



- ・ 地域庁舎管内別にみると、居住年数 20 年以上の『長期居住者 (計)』の割合が最も高いのは糀谷・羽田地域庁舎管内で 7 割強、最も低いのは調布地域庁舎管内で 5 割台半ば近くとなっている。居住年数が 5 年以上 20 年未満の『中期居住者 (計)』は、調布地域庁舎管内で 3 割近くと最も高く、居住年数が 5 年未満の『短期居住者 (計)』も、調布地域庁舎管内で 1 割台半ばを超え、最も高くなっている。

【居住開始時期×地域庁舎管内別（過年度比較）】



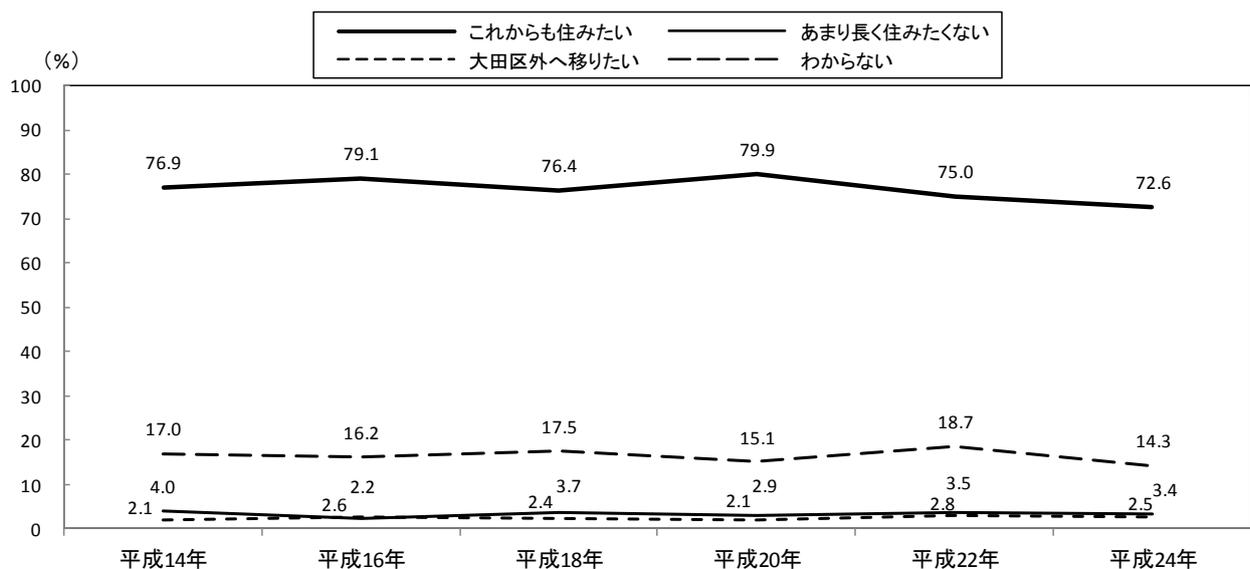
- ・大田区への居住開始時期を大田区での居住年数に換算して、地域庁舎管内別に経年比較すると、居住年数が20年以上の『長期居住者（計）』は、前回調査では割合が減少したが、今回はいずれの管内においても割合が増加している。
- ・居住年数5年以上20年未満の『中期居住者（計）』では前回調査では糎谷・羽田地域庁舎管内を除いて増加したが、今回調査では調布地域庁舎管内を除いて割合が減少しており、大森地域庁舎管内では-4.0ポイントと最も大きく減少している。
- ・居住年数が5年未満の『短期居住者（計）』は、前回調査では大森地域庁舎管内及び糎谷・羽田地域庁舎管内で増加したが、今回調査では、大森地域庁舎管内で0.5ポイントの増加、調布地域庁舎管内で1.4ポイント増加している。

問2 これからも大田区に住みたいと思いますか。(〇は1つ)



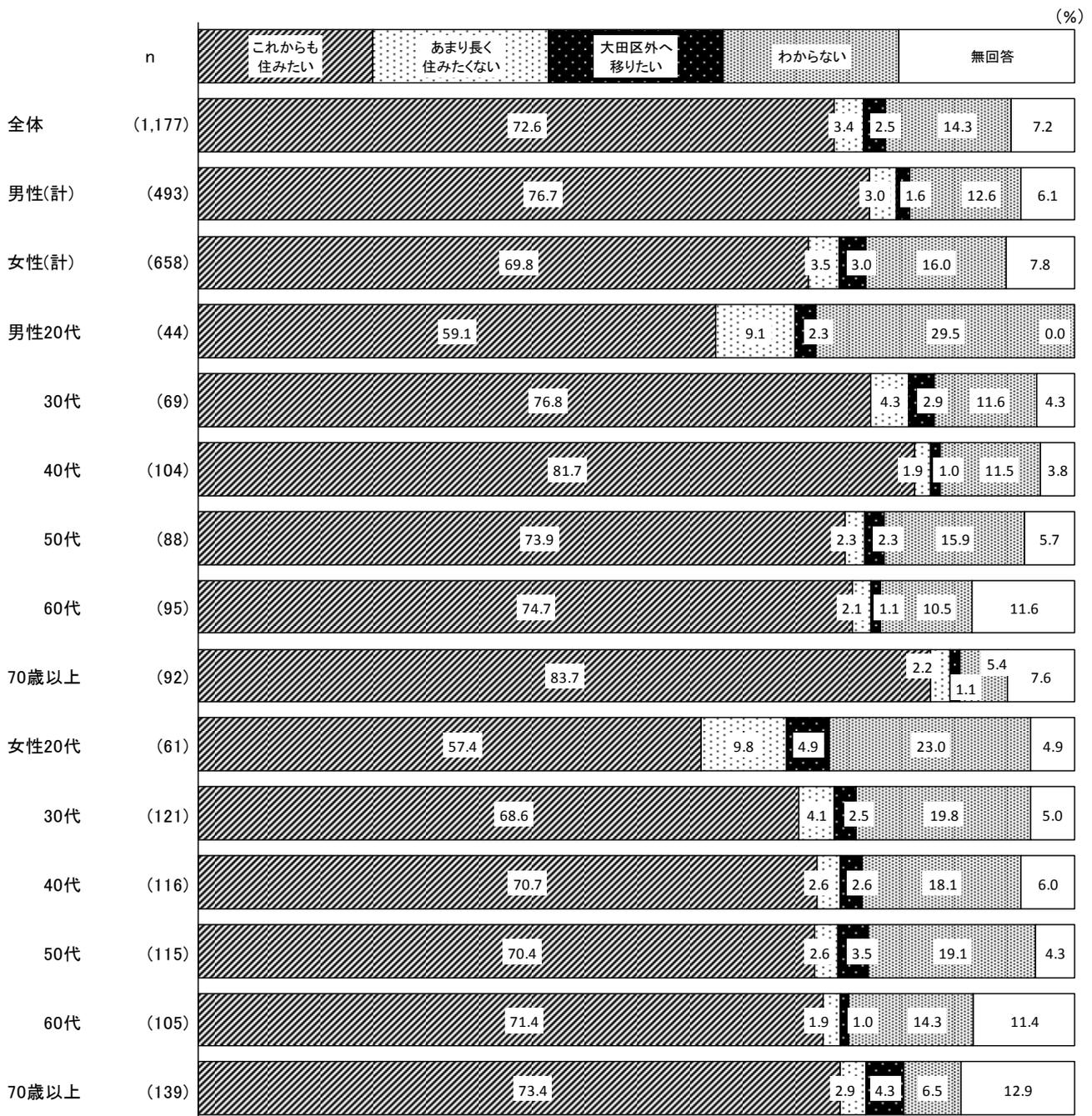
- ・全体で見ると、「これからも住みたい」(72.6%)と定住意向のある人は7割強となっている。
- ・「あまり長く住みたくない」(3.4%)と「大田区外へ移りたい」(2.5%)を合わせた『転出意向(計)』のある人は5.9%となっている。

【定住意向：過年度比較】



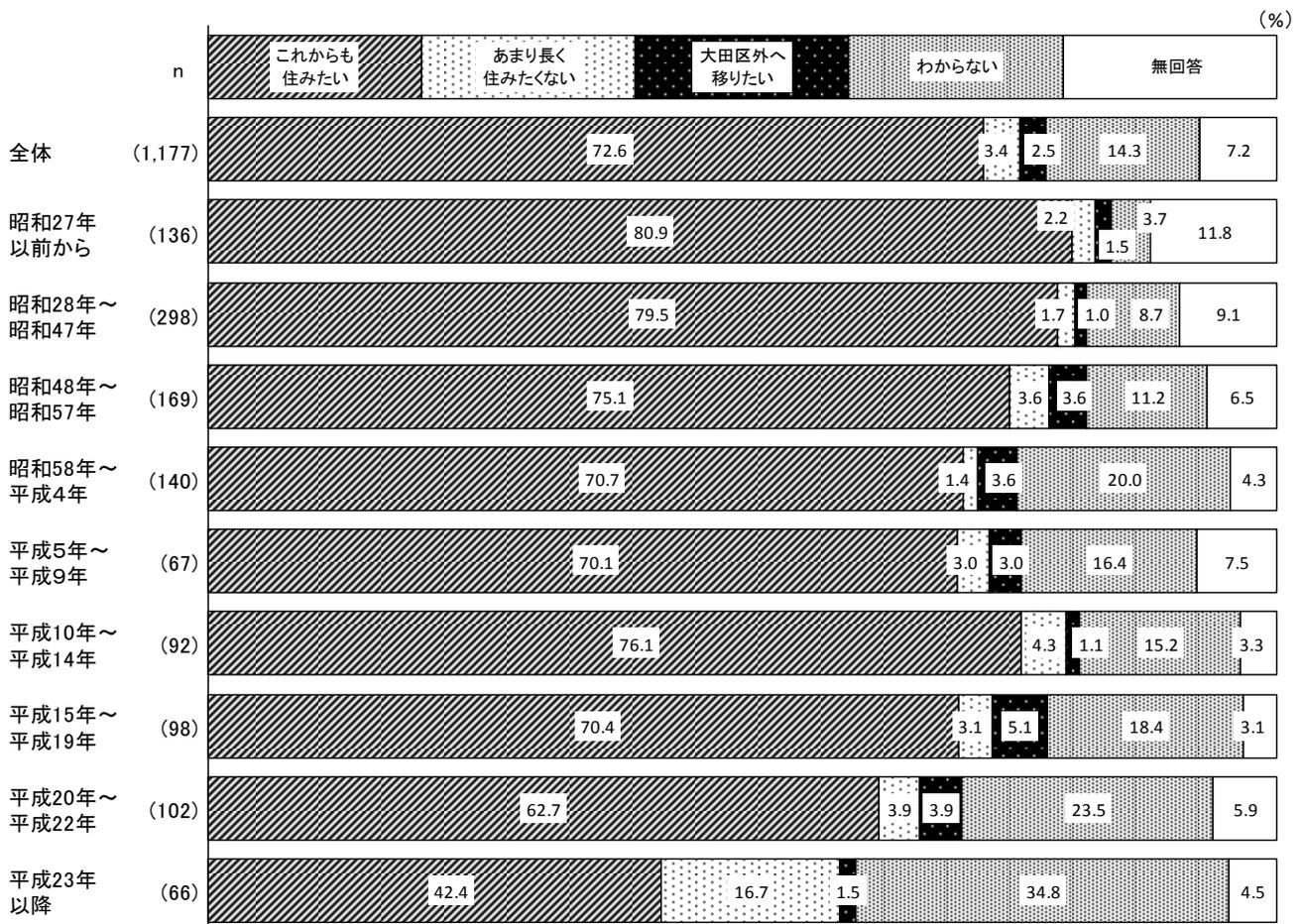
- ・過去10年の定住意向の推移をみると、すべての年において7割を超える水準ではあるが、「これからも住みたい」(72.6%)は、前々回結果(79.9%)、前回結果(75.0%)と比較すると減少傾向が続いている。
- ・一方、「あまり長く住みたくない」と「大田区外へ移りたい」を合わせた、『転出意向(計)』の推移をみると前回調査の6.3%から5.9%と0.4ポイント減少している。

【定住意向×性／年代別】



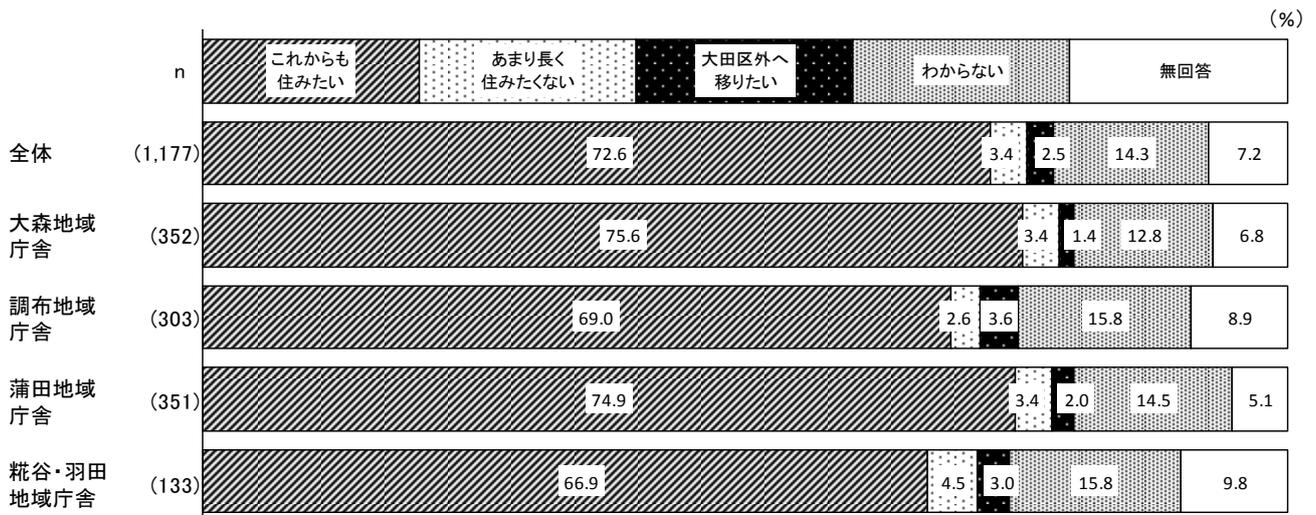
- ・性別にみると、「これからも住みたい」は男性 76.7%、女性 69.8%と男性の方が 6.9 ポイント高くなっている。
- ・年代別にみると、「これからも住みたい」は男性 20 代では 6 割弱、女性 20 代では 5 割台半ばを超えている。30 代以上では女性 30 代を除き 7 割以上と高い傾向にあり、特に男性 40 代では 8 割強、70 歳以上では 8 割台半ば近くとなっている。
- ・「あまり長く住みたくない」では男性 20 代 (9.1%)、女性 20 代 (9.8%) と男女とも 20 代で、他の年代に比べ割合が高くなっている。

【定住意向×居住開始時期別】



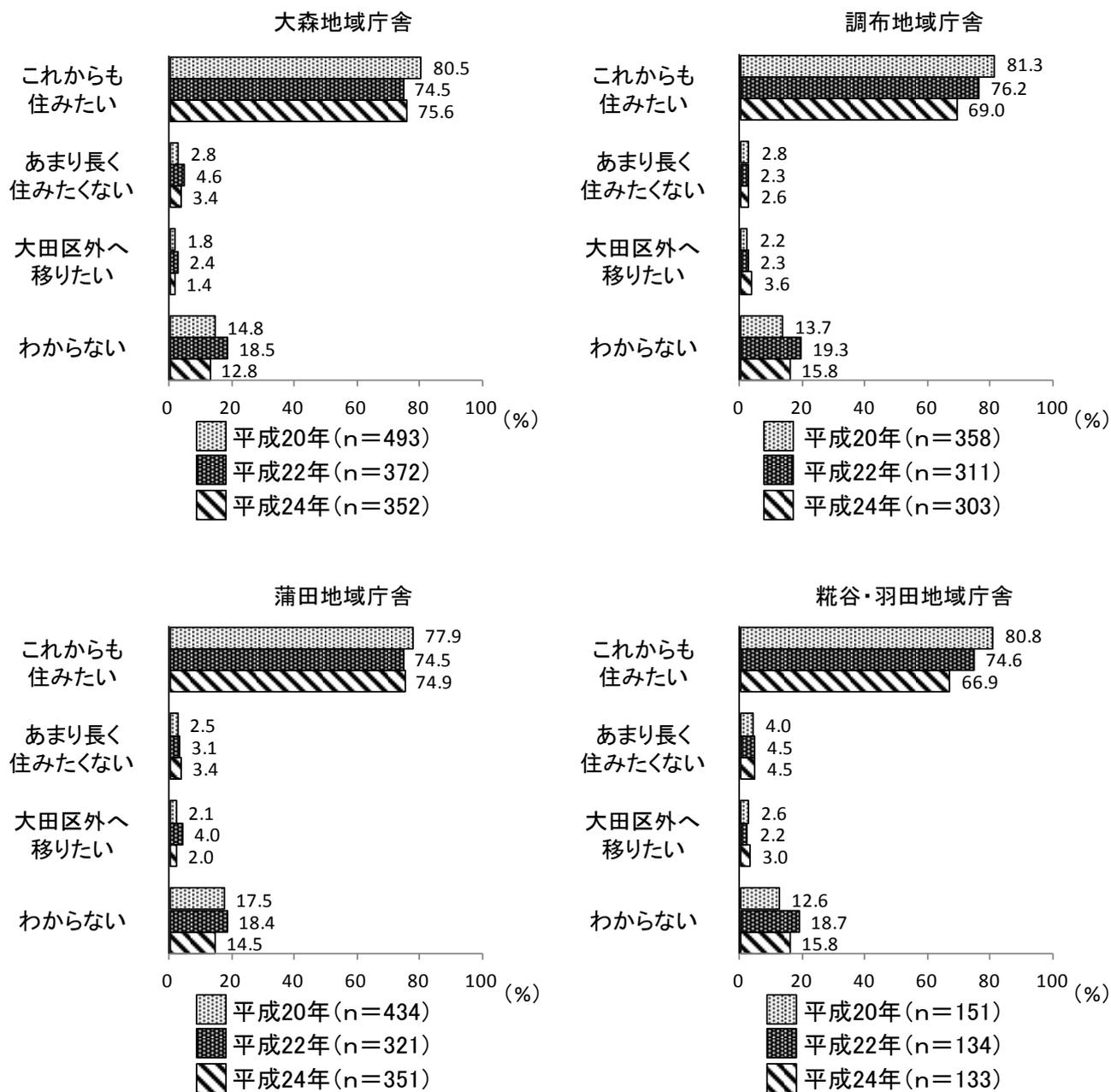
- ・ 居住開始時期別にみると、居住年数5年以上では「これからも住みたい」割合がいずれも高い傾向にあり7割を超えている一方で、居住年数2年未満の「あまり長く住みたくない」割合（16.7%）が他に比べて突出している。

【定住意向×地域庁舎管内別】



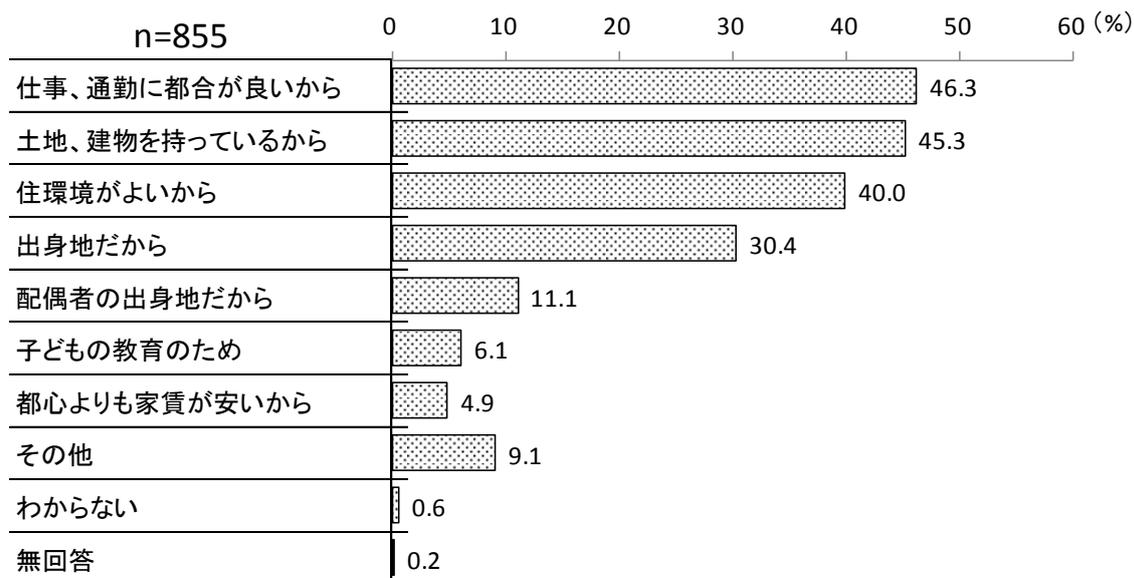
- ・地域庁舎管内別にみると、いずれの管内においても「これからも住みたい」が7割前後となっており、「あまり長く住みたくない」、「大田区外へ移りたい」を合わせた『転出意向（計）』のある人は1割未満となっている。
- ・また、「わからない」はいずれの管内においても1割台となっている。

【定住意向×地域庁舎管内別（過年度比較）】



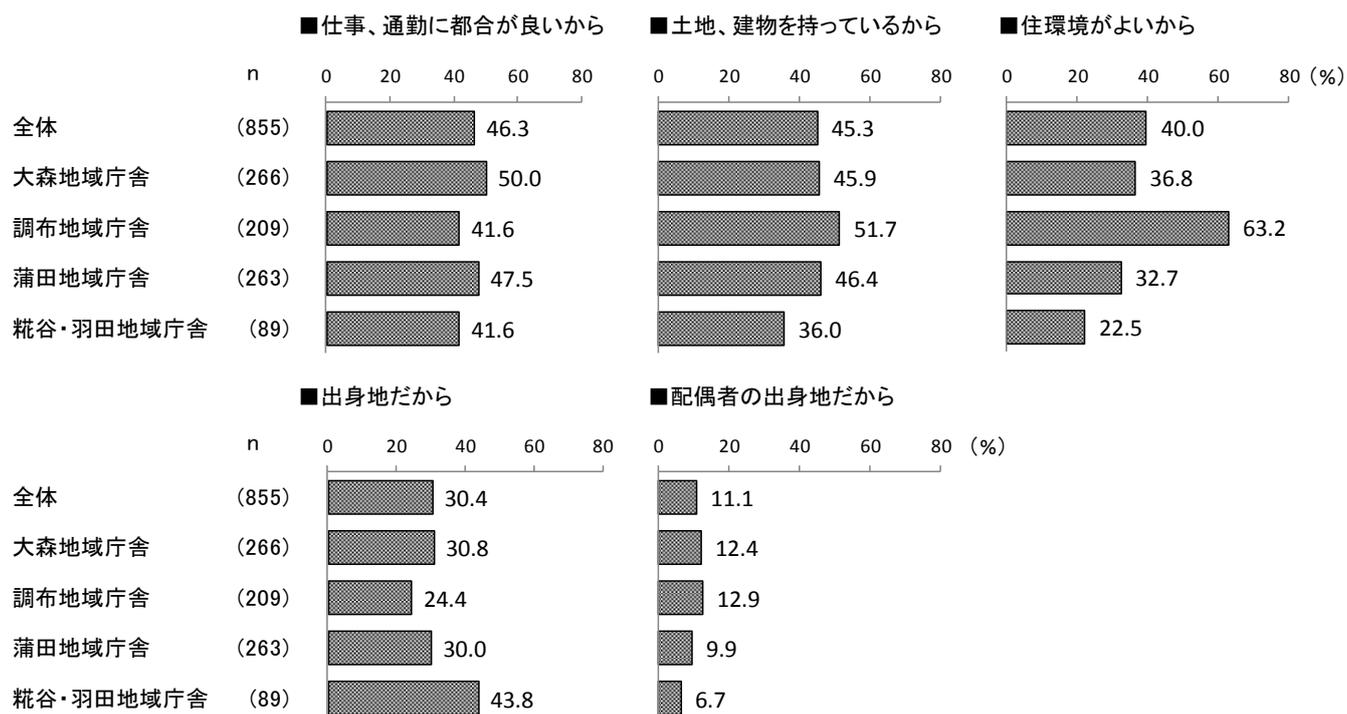
- ・ 地域庁舎管内別の定住意向を経年変化で見ると、「これからも住みたい」が圧倒的に多い。
- ・ 大森地域庁舎、蒲田地域庁舎では前回調査と同様に7割を超えている。
- ・ 調布地域庁舎では76.2%から69.0%と7.2ポイント、糀谷・羽田地域庁舎では74.6%から66.9%と7.7ポイント減少している。
- ・ 一方、「あまり長く住みたくない」、「大田区外へ移りたい」はいずれの地域庁舎管内でも前回調査と同様に1割未満となっている。

問2-1 これからも大田区に住みたい理由は何ですか。(〇はいくつでも)



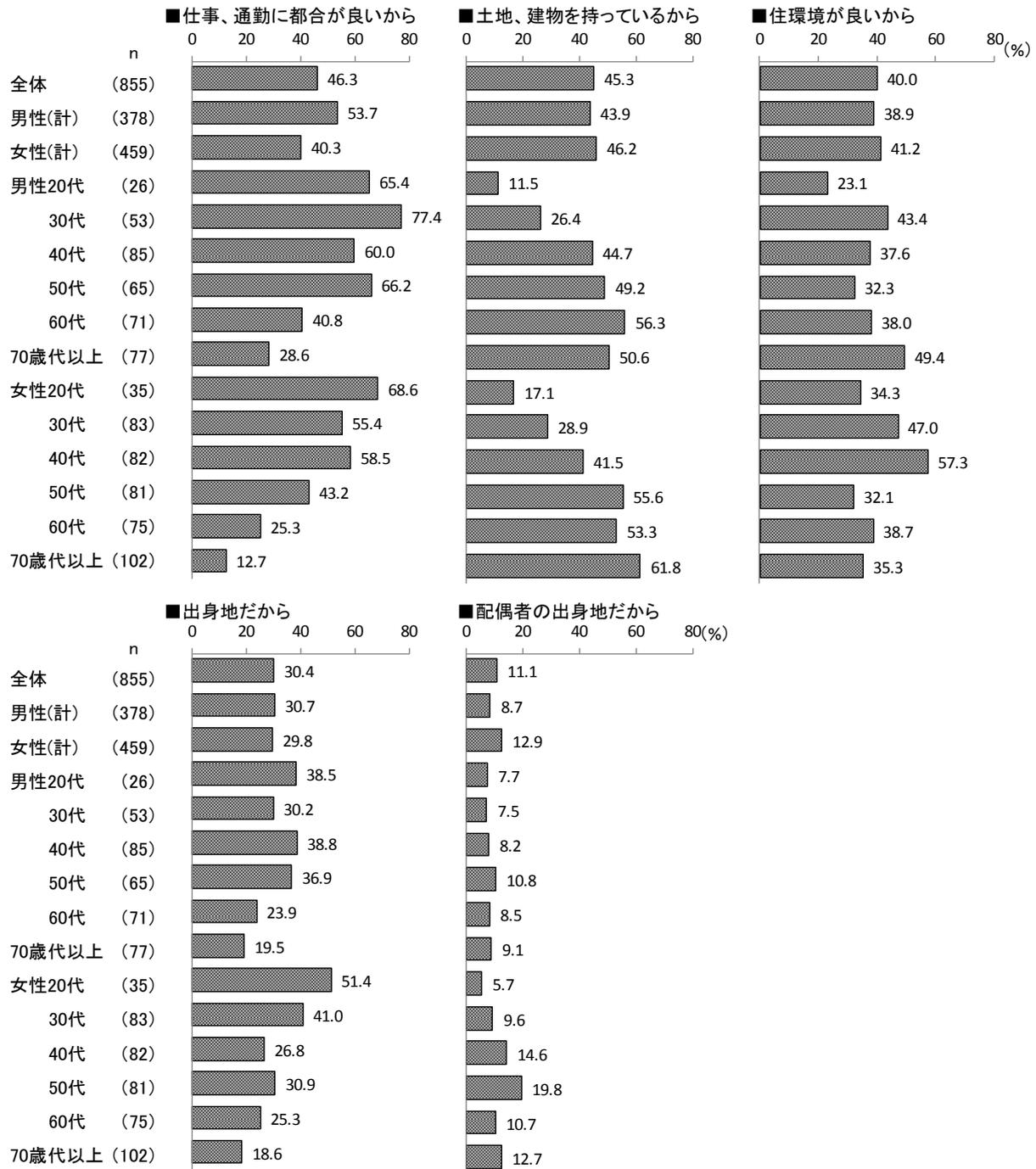
- ・全体で見ると「仕事、通勤に都合が良いから」(46.3%)が最も高く、次いで「土地、建物を持っているから」(45.3%)、「住環境がよいから」(40.0%)、「出身地だから」(30.4%)の順となっている。
- ・前回調査では「土地、建物を持っているから」(49.5%)、「仕事、通勤に都合が良いから」(44.0%)、「住環境がよいから」(40.7%)の順に割合が高く、今回調査では「仕事、通勤に都合が良いから」(46.3%)が最も割合が高くなっており順位は変わったものの、上位3項目の内容は同じ結果となっている。

【住みたい理由×地域庁舎管内別（上位5項目）】



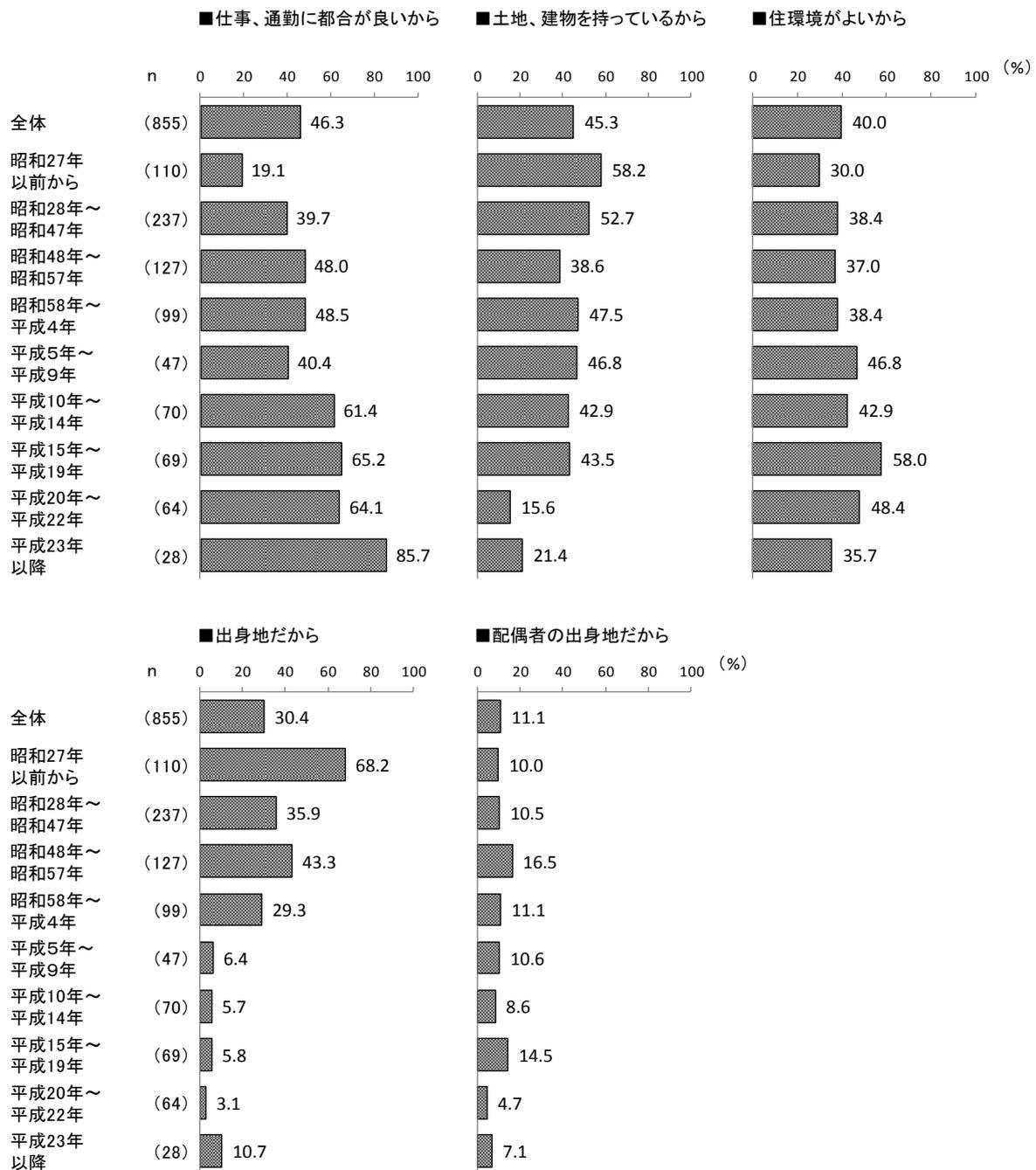
- ・上位5項目を地域庁舎管内別にみると、大森地域庁舎、蒲田地域庁舎では「仕事、通勤に都合が良いから」がそれぞれ50.0%、47.5%と最も高く、調布地域庁舎では「住環境がよいから」（63.2%）、糀谷・羽田地域庁舎では「出身地だから」（43.8%）が最も割合が高くなっている。

【住みたい理由×性／年代別（上位5項目）】



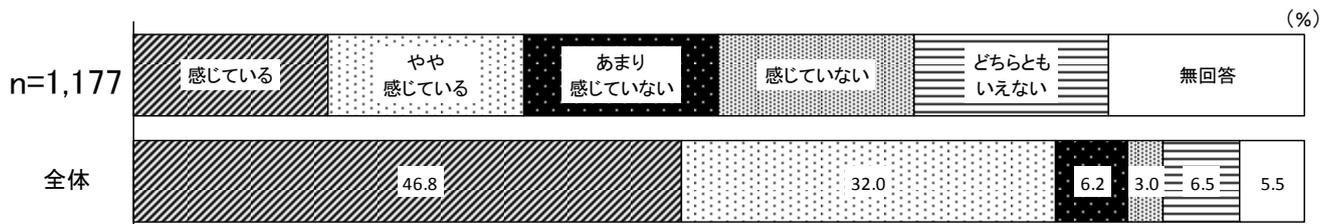
- ・上位5項目を性別にみると、「仕事、通勤に都合が良いから」では男性（計）が53.7%と女性（計）40.3%に比べ13.4ポイント、「配偶者の出身地だから」では女性（計）が12.9%と男性（計）8.7%に比べ4.2ポイント高くなっている。
- ・年代別にみると、男女とも「土地、建物を持っているから」では年代が上がるほど割合が高くなる傾向にある。
- ・男性では30代で「仕事、通勤に都合が良いから」が77.4%、女性では20代で68.6%と最も高くなっている。
- ・「配偶者の出身地だから」では、女性（計）が12.9%と男性（計）8.7%に比べ4.2ポイント高くなっている。

【住みたい理由×居住開始時期別（上位5項目）】



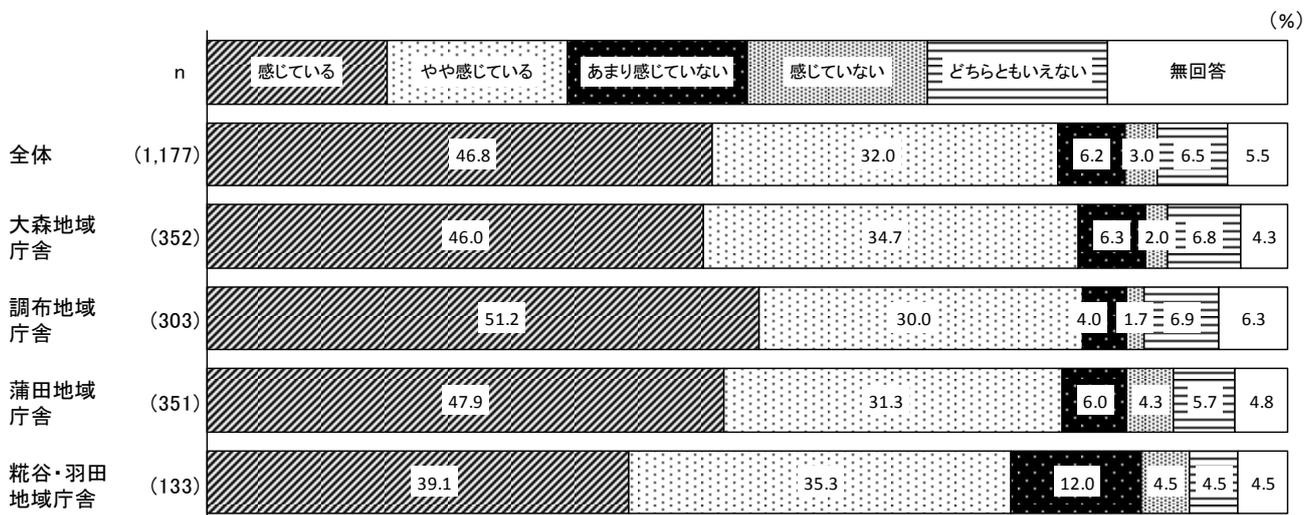
- ・上位5項目を居住開始別にみると、前回調査と同様に、居住年数が長いほど「土地、建物を持っているから」の割合が高い傾向にある。また、「仕事、通勤に都合が良いから」では居住年数が短いほど割合が高い傾向にある。
- ・「出身地だから」では、居住年数が20年未満では1割未満～約1割にとどまるが、居住年数が20年以上になると、3割弱～7割近くと割合が高くなる傾向にある。特に居住年数が60年以上（昭和27年以前から）の層では68.2%と高い割合となっている。

問3 あなた（あて名のご本人）は、お住まいの地域に愛着を感じていますか。（〇は1つ）



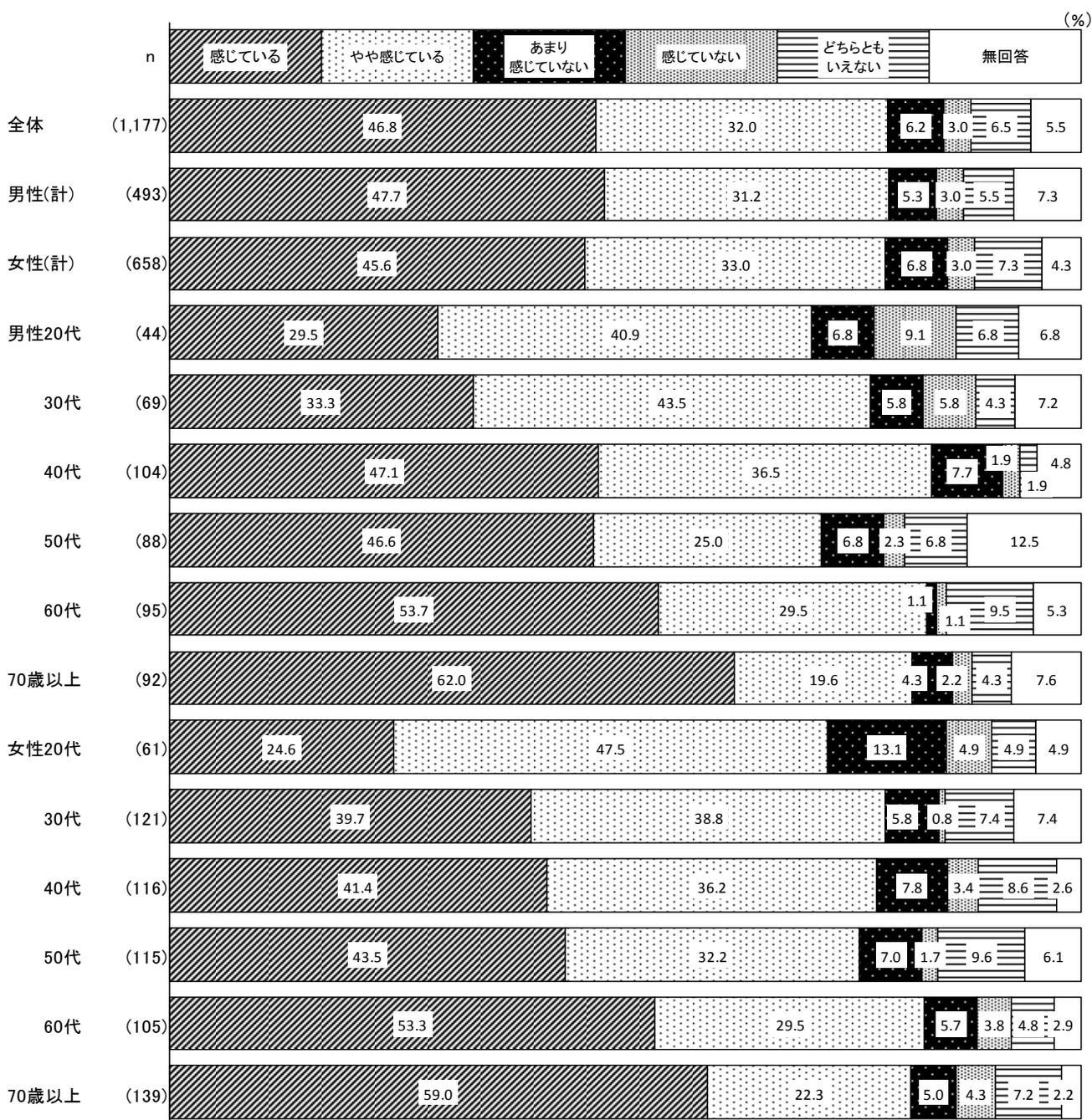
- ・全体では、住んでいる地域に愛着を感じているという回答は、「感じている」（46.8％）と「やや感じている」（32.0％）を合わせた『感じている（計）』という人は、78.8％と8割近くとなっている。

【愛着×地域庁舎管内別】



- ・地域庁舎別にみると、愛着を「感じている」の割合が最も高いのは調布地域庁舎（51.2％）となっており、次いで蒲田地域庁舎（47.9％）、大森地域庁舎（46.0％）、糞谷・羽田地域庁舎（39.1％）の順となっている。いずれの地域庁舎でも「感じている」と「やや感じている」を合わせた、『住んでいる地域に愛着を感じている（計）』という回答は7割以上となっている。

【愛着×性／年代別】



- ・性別にみると、男女とも年代が上がるほど愛着を感じている割合が高くなる傾向にある。また、男性（計）、女性（計）をみても同じ傾向であり、男女で特に差はない。
- ・年代別にみると、男性の20代では「感じていない」が9.1%、女性の20代では「あまり感じていない」が13.1%と他の年代に比べ割合が高くなっている。